

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成30年6月28日(木) 14時00分～15時00分	
参加者	議題
利用者 8名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 6名	2 入居者情報
地域住民の代表者 0名	3 利用者の医療看護の状況
市職員 1名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1名	5 身体拘束廃止委員会
事業所 4名	
会議録	
<p>1 上記の議題について資料を基に施設職員が各自発表を行った。その後参加者全員の方に質問や感想を頂き、お答えした。</p> <p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均年齢（男性79歳、女性88.8歳）・平均介護度（男性3.5、女性3.71） ・期間中（H30.4.26～H30.6.27）面会者数 44回（1日平均0.73人）いつも差し入れの果物やお菓子をありがとうございます。入居者の皆様も喜んで食べられています。感染症による体調不良時のご面会はご遠慮願います。 <p>3 入居者の医療看護の状況（H30.4.26～H30.6.27の期間）</p> <p>〔利用者の転帰状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退去者0名 ・新入居者0名 ・入院者0名 退院者0名 ・他の医療機関受診状況→訪問マッサージ2名 <p>〔入居者の看護、介護の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医（トータルサポートクリニック往診） 内科9名受診、眼科9名受診 ・内服管理9名、血圧管理3名、鎮咳・認知症貼薬3名、点眼4名、軟膏塗布6名、湿布外用・鎮痛3名、ガーゼ交換1名、体重・水分管理1名、骨粗鬆症薬・リウマチ薬・糖尿病薬3名、認知症サプリメント1名、認知症 	

点滴療法1名、酸素飽和度測定1名、口腔・気道吸引1名

- ・食事・水分・排泄・入浴・移動状況の説明

〔利用者の健康教室開催状況〕講師矢萩看護師

- ・7月一夏の伝染病予防（食中毒の予防）
- ・8月一熱中症について

入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（毎回25人程参加）

〔健康管理総括〕

- ・吸引の必要性が季節柄多くなっている利用者が1名いる。いいきっかけとして実務者研修を終えている職員が2名と吸痰の研修に参加している職員が1名おり、現場研修を経て、愛知県の認定も受けて介護士も吸引を行えるように現在進行中である。
- ・夏になり熱中症予防対策として、今年は5月初旬から自家製ポカリを1日100ml、15時に1回、おやつ時に飲んでもらっている。冷やして15時の暑いころほどよく、美味しく飲まれている。今年の酷暑を上手に過ごせる助けになってくれるといいと思う。
- ・通常の車いすでは姿勢の保持が困難になってきた方がおられ、リクライニング、チルトの車いすを購入して対応している。移乗の際に職員が二人介助で行いやすいように腰痛予防にも役立っている。
- ・4年目に入り入居者の介護度も年齢も高くなっており、ますます介護の知識や技術が大切になってきている。日々の仕事の中で多くを学んで、研修しながらレベルアップを目指していきたい。

4 主な行事報告

- ・5月5日 端午の節句 笹餅作り
- ・5月13日 母の日でお茶会
- ・6月12日 お楽しみ会（エイラさんによる演奏と合唱）

各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。
2階の有料老人ホームの方々と合同で行うイベントも多々あります。

5 身体拘束廃止委員会開催

- ・身体拘束廃止の指針について
- ・身体拘束廃止に向けての基本方針
- ・身体拘束廃止に向けた体制
- ・やむを得ず身体拘束を行う場合の対応
- ・身体拘束廃止に向けた各職種の役割
- ・身体拘束廃止・改善のための職員教育・研修

- ・次回運営推進会議H30年8月23日

〔皆さんの質問や感想〕

(瀬戸市職員)

- 身体拘束廃止については外部の意見を取り入れることに変わってきている。
- 身体拘束廃止を常に頭に入れておくことが大切だと思う。(社協の方)
- 身体拘束廃止の指針を作ることは重要だと思う(家族)
- 他の施設で今までやられてきたことを話される(家族)
- 身体拘束を行う時は、臨機応変にやってほしい(家族)
- 身体拘束を行うことを知らないと驚くので、必ず相談してほしい(家族)